

「最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出伸び率17ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.8.31

平成30年6月の機械輸出額は4兆5,656億円、対前年同月比5.7%増と、17ヶ月連続でプラスとなった。これは、①北米、韓国・台湾向けを除く4地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な9輸出業種が二桁のプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.8%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は10.5%増となった。平成30年7月の為替・営業日要因は4.3%の増加寄与要因となっているが、8月16日発表の貿易統計速報による簡易計算では7月の機械輸出は1.8%増であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:7兆532億円(前年同月比 [以下同じ] 6.7%増、19ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆3,325億円(2.6%増、3ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:7,208億円と再び黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆5,656億円(5.7%増、17ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:10.5%増(21ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆92億円(1.2%減、16ヶ月ぶりマイナス)

(2) 為替・営業日動向

2018年6月に4.8%の減少要因、7月に4.3%の増加要因、8月に4.6%の増加要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 北米、韓国・台湾向け以外の4地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:3.0%減、3ヶ月ぶりマイナス(図表4、5)
- ③ 中国向け:9.7%増、4ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:12.4%増、19ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:9.6%増、2ヶ月ぶりプラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:6.0%減、5ヶ月連続マイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:13.5%増、12ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中16業種がプラス。そのうち9業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 発電機(北米、その他地域向け中心)、原動力機械(韓国・台湾、その他地域、ASEAN・南アジア向け中心)、農業機械(北米向け中心)、陸用内燃機関(北米、中国、EU向け中心、4ヶ月連続上位)等が大きくプラス
- ② 建設機械(北米、その他地域向け中心、5ヶ月連続上位)、電気・電子計測器(中国、北米、韓国・台湾、ASEAN・南アジア向け中心、3ヶ月連続上位)、電動機(北米、中国、EU、韓国・台湾向け中心、4ヶ月連続上位)等も好調に輸出が継続
- ③ 産業用ロボット、通信機械部分品等が大きくマイナス

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、6機種がプラス
- ② そのうち半導体製造装置のみが二桁のプラス

II トピックス

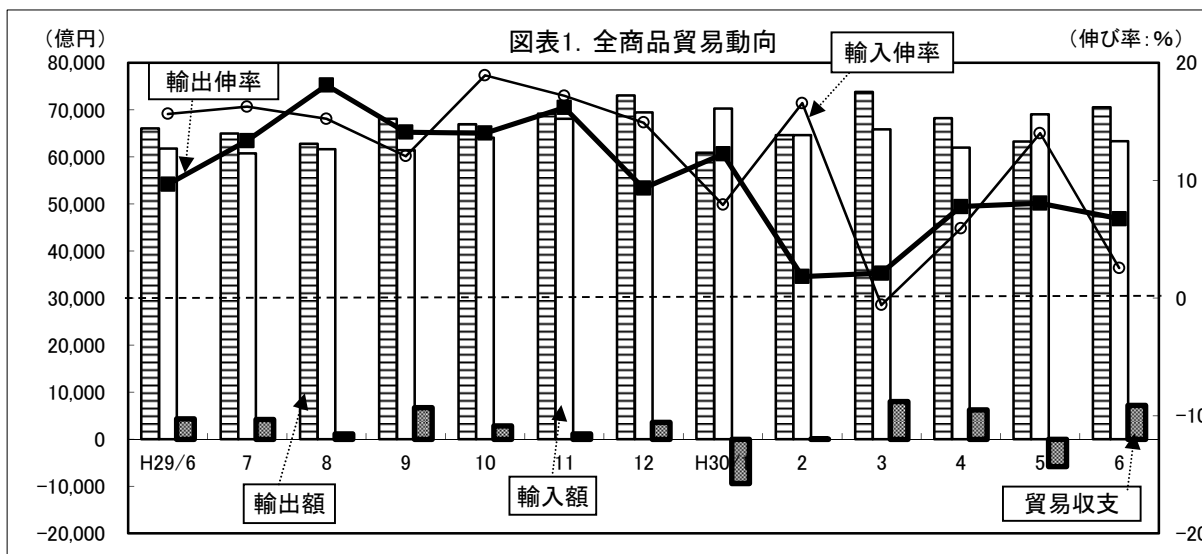
1. ブラジルにおいて経済に回復の兆し、マクロ環境も安定。

ブラジルの 2018 年第 1 四半期（1-3 月期）の経済成長は前期比 0.4%増だった。5 四半期連続のプラス成長となり、経済回復が鮮明になってきた。2017 年には、3 年ぶりのプラス成長を記録した。また、8 月 1 日にブラジル中央銀行は政策金利を 6.5%に据え置くと発表した。通貨レアルは米国の利上げを受けて対ドルで下落していたが、足元で値を戻しており、金利を据え置いて様子を見る。金利の据え置きは 3 会合連続。この低金利で、近年落ち込んでいた自動車などの耐久消費財の販売が回復している。ブラジルの 7 月の新車販売台数は、前年同月比 17.7%増の 21 万 7,509 台と好調を維持。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は19ヶ月連続プラス、輸入も3ヶ月連続プラスへ～

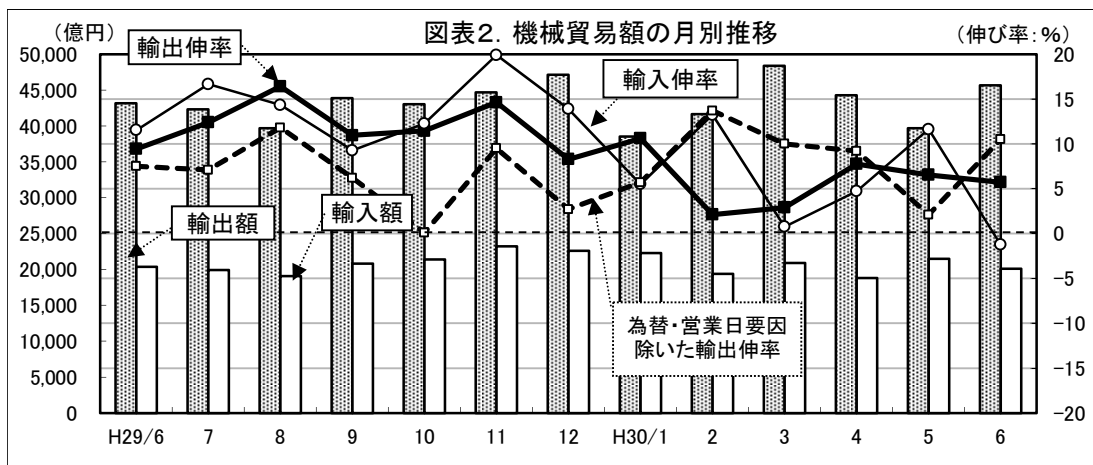
- 1) 平成30年6月の全商品輸出額は**7兆532億円**、前年同月比(以下同じ)**6.7%増**と19ヶ月連続でプラスとなった(5月8.1%増)。これは、全輸出額の約21%を占める一般機械(8.4%増)をはじめ、約17%を占める電気機器(8.1%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(9.5%増)、プラスチック等化学製品(11.6%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆3,325億円**、**2.6%増**と3ヶ月連続でプラスとなった(5月14.0%増)。これは、全輸入額の約15%を占める電気機器(1.7%減)、約10%の一般機械(4.1%減)がマイナスとなったものの、約20%の原粗油等鉱物性燃料(9.3%増)、約10%の原料別製品(9.5%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約7,208億円と再び黒字となった。(5月は5,805億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は17ヶ月連続プラス、輸入は16ヶ月ぶりマイナス～

- 1) 全商品輸出額の約65%を占める6月の機械輸出額は**4兆5,656億円**、**5.7%増**と17ヶ月連続でプラスとなり(5月6.5%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年6月)と比べると**95.4%**となって、前月に比べて7.2ポイント改善した(5月88.2%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は10.5%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆92億円**、**1.2%減**と16ヶ月ぶりにマイナスとなり(5月11.6%増)、リーマンショック前(2008年6月)の水準に比べ、19.2%増となっている。

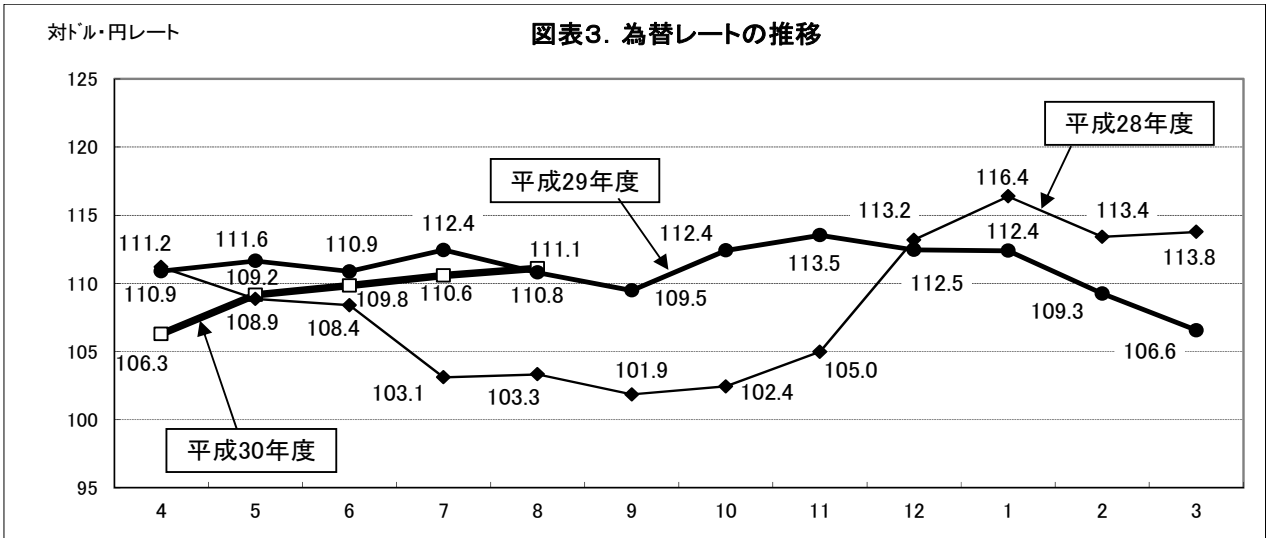


(2) 為替・営業日動向～6月は4.8%の減少要因、7月は4.3%の増加要因～

1) 2018年6月は1ドル＝109.8円となり、前年に比べ1.0%の円高となった。また、対ユーロは128.7円と前年に対して3.6%の円安となり、合わせて約0.3%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約4.8%の減少要因となる。6月の輸出額は5.7%増であったことから、実質的伸び率は10.5%増と21ヶ月連続プラスとなった(5月2.1%増)。

2) 2018年7月は1ドル＝110.6円で前年比1.6%の円高、対ユーロは128.8円で前年比1.2%の円安となり、合わせて約0.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合計で約4.3%の増加要因となる。

3) 2018年8月は、対ドルが8月29日17:00時点の111.1円とすれば、前年に比べて0.3%の円安、また、対ユーロは129.7円で0.1%の円高となり、合わせて約0.1%の為替増加要因となる。営業日は前年に比べて1日多いため、約4.5%の増加要因となり、合計で約4.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米、韓国・台湾向け以外の4地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の23.4%を占める最大輸出先の北米向けでは、建設機械(10.6%増)がプラスとなったものの、全体の約50%を占める自動車(8.0%減)や産業機械(8.6%減)等が減少して3.0%減となった。②22.7%を占める中国向けでは、産業機械(28.2%増)、自動車(11.8%増)、電子デバイス(13.4%増)等が増加して9.7%増となり、③15.0%のASEAN・南アジア向けは、インド(48.9%増)、インドネシア(40.1%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(16.6%増)、産業機械(16.3%増)、電子デバイス(14.5%増)等がプラスとなって12.4%増となった。④12.7%を占めるEU向けは、約31%を占める自動車(7.7%減)がマイナスとなったものの、産業機械(8.2%増)、船舶(約3倍)がプラスとなって9.6%増となり、⑤9.6%を占める韓国・台湾向けは、自動車(3.8%増)がプラスとなったものの、産業機械(20.6%減)、電子デバイス(1.4%減)等が減少して6.0%減となった。⑥16.6%のその他地域向けでは、アフリカ(23.6%増)、ロシア東欧等(21.8%増)向けが大きくプラスとなり、機種では、自動車(13.2%増)、船舶(7.3%増)、産業機械(13.4%増)等がプラスとなって13.5%増となった。

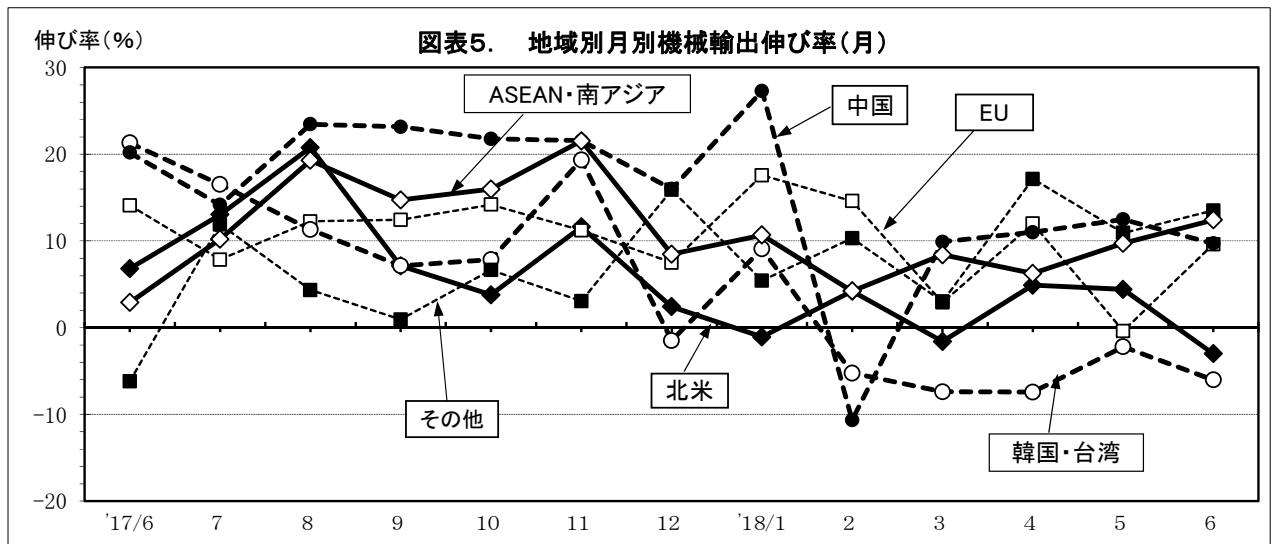
2) また、リーマンショック前の2008年6月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジアが100%を超え、韓国・台湾、北米向けが90%台、EU、その他地域向けが70%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2018/4			2018/5			2018/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	44,313	7.8	100.0	39,711	6.5	100.0	45,656	5.7	100.0	0.95
北米	11,039	4.9	24.9	9,446	4.4	23.8	10,691	▲ 3.0	23.4	0.99
中国	9,800	11.0	22.1	9,211	12.5	23.2	10,370	9.7	22.7	1.19
ASEAN・南アジア	6,482	6.3	14.6	6,091	9.7	15.3	6,839	12.4	15.0	1.13
EU	5,747	12.0	13.0	4,883	▲ 0.4	12.3	5,781	9.6	12.7	0.78
韓国・台湾	4,152	▲ 7.4	9.4	4,093	▲ 2.2	10.3	4,380	▲ 6.0	9.6	0.99
その他	7,094	17.2	16.0	5,988	10.9	15.1	7,595	13.5	16.6	0.73

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

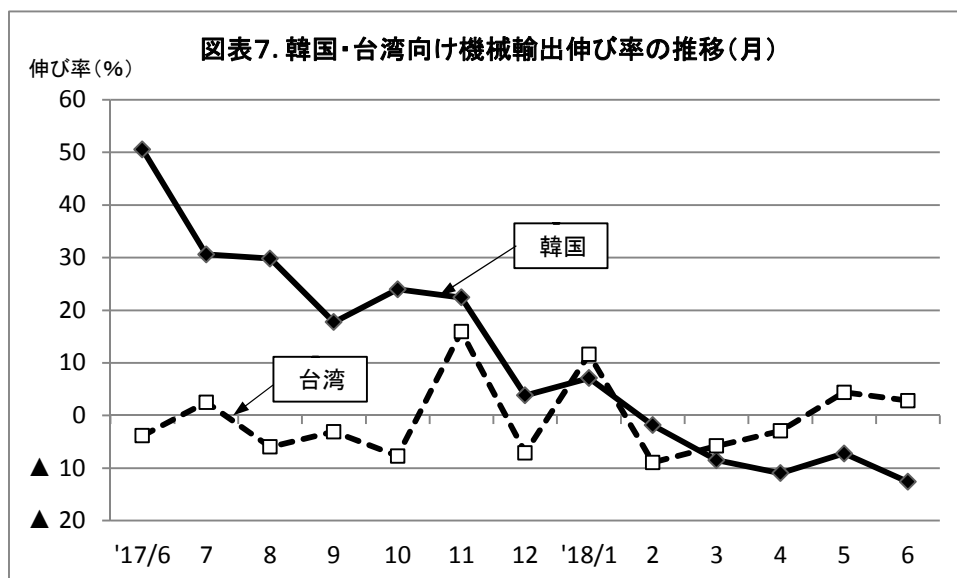


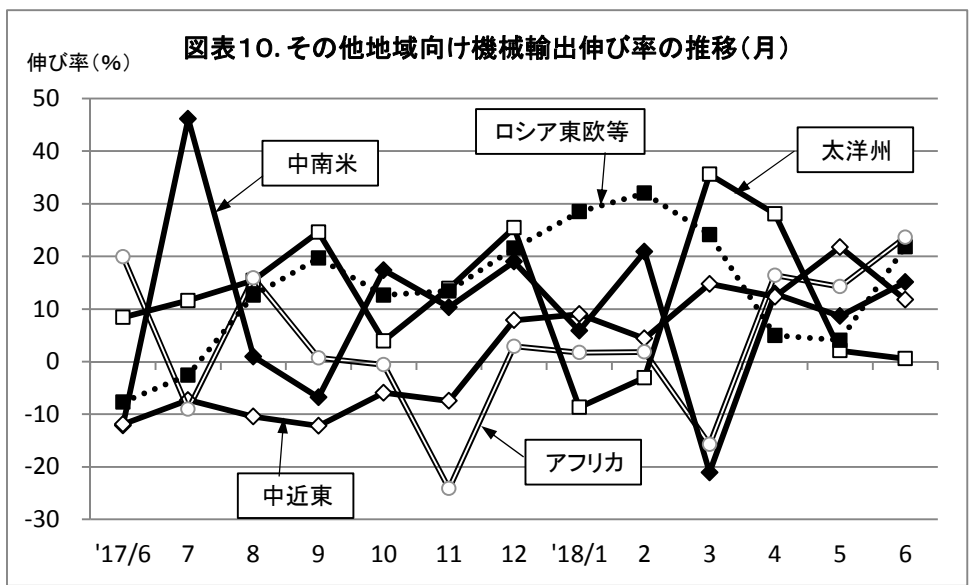
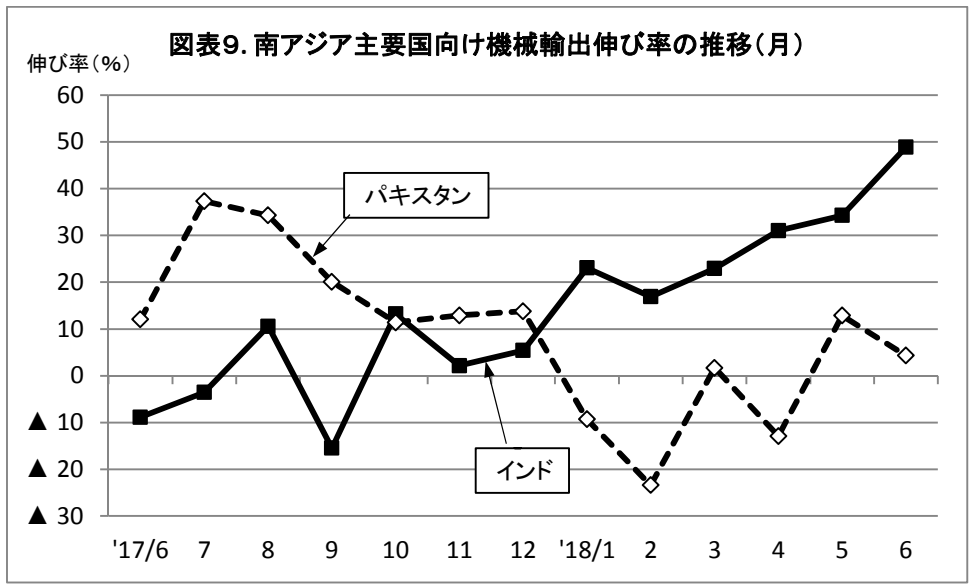
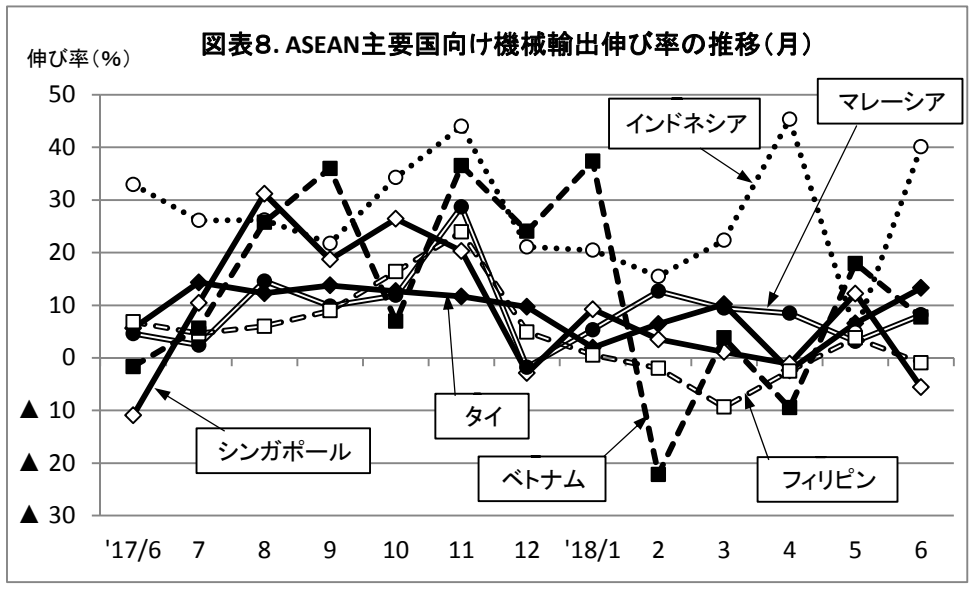
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2018/3		2018/4		2018/5		2018/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,782	▲ 8.5	2,227	▲ 11.0	2,208	▲ 7.2	2,335	▲ 12.6
台湾	2,079	▲ 5.8	1,925	▲ 3.0	1,885	4.4	2,046	2.8
ASEAN・南アジア								
タイ	1,785	10.2	1,574	▲ 2.4	1,481	6.6	1,784	13.3
シンガポール	1,128	1.1	1,000	▲ 1.1	1,004	12.2	902	▲ 5.6
インドネシア	997	22.3	976	45.4	686	4.8	957	40.1
マレーシア	802	9.4	674	8.5	632	3.1	715	8.2
フィリピン	698	▲ 9.4	659	▲ 2.5	654	3.8	687	▲ 1.0
ベトナム	732	3.8	639	▲ 9.5	709	17.9	778	7.7
インド	671	22.9	499	31.0	478	34.3	613	48.9
パキスタン	176	1.7	164	▲ 12.9	171	12.9	160	4.3
その他地域								
中南米	2,324	▲ 21.0	2,163	12.9	1,849	8.7	2,497	15.1
中近東	2,294	14.8	1,577	12.3	1,374	21.8	1,764	11.8
大洋州	1,664	35.6	1,540	28.1	1,181	2.1	1,379	0.5
ロシア東欧等	1,250	24.1	1,238	5.0	1,012	4.1	1,206	21.8
アフリカ	636	▲ 15.7	522	16.4	486	14.2	695	23.6

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中16業種がプラス。うち船舶、民生用電子機械等9業種が二桁の増加～

1)業種別では、自動車(2.4%増)、産業機械(5.9%増)をはじめ16業種がプラスとなり、前月に比べて1業種減少した。そのうち、船舶(14.4%増)、民生用電子機械(10.1%増)、建設機械(18.9%増)をはじめ、9業種が二桁の伸びとなり、機械全体では5.7%増となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、軽機械、医療機械、ベアリング、陸用内燃機関、産業機械、農業機械、工作機械、軽電気機械、重電気機械の11業種となった(5月は7業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2018/4				2018/5				2018/6				対08/6 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,793	10.3	35.6	自動車	13,166	7.9	33.2	自動車	15,560	2.4	34.1	0.93
産業機械	8,219	7.0	18.5	産業機械	7,814	9.6	19.7	産業機械	8,368	5.9	18.3	1.12
電子デバイス	3,373	4.2	7.6	電子デバイス	3,183	8.1	8.0	電子デバイス	3,551	8.9	7.8	0.90
軽電気機械	2,465	4.3	5.6	軽電気機械	2,281	10.6	5.7	軽電気機械	2,590	5.6	5.7	1.08
重電気機械	2,191	9.1	4.9	重電気機械	1,993	10.4	5.0	重電気機械	2,301	9.8	5.0	1.07
軽機械	1,711	4.8	3.9	軽機械	1,624	11.1	4.1	船舶	1,841	14.4	4.0	0.98
船舶	1,606	29.0	3.6	民生用電子機械	1,378	14.1	3.5	軽機械	1,833	5.0	4.0	1.36
建設機械	1,423	21.8	3.2	建設機械	1,214	16.9	3.1	民生用電子機械	1,517	10.1	3.3	0.47
民生用電子機械	1,370	▲4.0	3.1	光学機械	1,120	▲10.3	2.8	建設機械	1,402	18.9	3.1	0.91
光学機械	1,181	▲11.7	2.7	船舶	1,041	▲38.8	2.6	光学機械	1,243	▲3.9	2.7	0.98
工作機械	830	24.3	1.9	工作機械	743	6.7	1.9	工作機械	937	18.2	2.1	1.08
航空機部品	630	▲10.6	1.4	航空機部品	702	7.5	1.8	航空機部品	710	▲3.2	1.6	1.52
通信機械	573	2.8	1.3	通信機械	520	18.1	1.3	医療機械	529	12.3	1.2	1.34
陸用内燃機関	443	14.8	1.0	医療機械	433	12.8	1.1	通信機械	498	▲4.7	1.1	0.58
医療機械	432	8.8	1.0	陸用内燃機関	425	16.9	1.1	陸用内燃機関	477	20.6	1.0	1.21
ベアリング	426	7.3	1.0	ベアリング	393	8.4	1.0	ベアリング	445	1.7	1.0	1.23
電子計算機	374	▲10.6	0.8	電子計算機	369	▲6.9	0.9	電子計算機	436	▲2.6	1.0	0.45
繊維機械	200	0.1	0.5	繊維機械	218	14.0	0.5	農業機械	224	26.8	0.5	1.11
農業機械	198	4.6	0.4	農業機械	198	15.7	0.5	繊維機械	193	▲19.8	0.4	0.80
産業車両	129	13.6	0.3	鉄道車両	163	▲11.6	0.4	鉄道車両	168	16.1	0.4	1.72
鉄道車両	128	▲2.2	0.3	産業車両	114	10.6	0.3	産業車両	131	11.7	0.3	0.53
21業種合計	43,697		98.6	21業種合計	39,091		98.4	21業種合計	44,953		98.5	0.95

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～発電機、原動力機械等が大幅増、産業用ロボット、通信機械部分品等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①北米、その他地域、ASEAN・南アジア向け**発電機**(36.4%増)、②韓国・台湾、その他地域、ASEAN・南アジア向け**原動力機械**(29.5%増)、③北米向け**農業機械**(26.8%増)、④北米、中国、EU向け**陸用内燃機関**(20.6%増)、⑤北米、その他地域向け**建設機械**(18.9%増)、⑥中国、北米、ASEAN・南アジア向け**工作機械**(18.2%増)、⑦中国、北米、韓国・台湾、ASEAN・南アジア向け**電気・電子計測器**(16.2%増)、⑧EU、その他地域向け**鉄道車両**(16.1%増)、⑨中国、ASEAN・南アジア向け**コンデンサー等部分品**(14.9%増)、⑩北米、中国、EU、韓国・台湾向け**電動機**(14.8%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、産業用ロボット(20.9%減)、通信機械部分品(19.9%減)、繊維機械(19.8%減)、受信変換その他送受信機器(18.6%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2018/4			2018/5			2018/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,606	29.0	電動機	180	25.8	発電機	87	36.4
工作機械	830	24.3	半導体製造装置	2,331	23.4	原動力機械	449	29.5
建設機械	1,423	21.8	コンデンサー等部分品	812	23.3	農業機械	224	26.8
電池	516	19.0	電池	484	22.5	陸用内燃機関	477	20.6
電動機	190	18.7	電気・電子計測器	427	20.0	建設機械	1,402	18.9
半導体製造装置	2,324	18.0	TV	97	19.4	工作機械	937	18.2
電気・電子計測器	471	17.8	通信機械部分品	217	19.1	電気・電子計測器	503	16.2
乗用車	9,547	16.1	建設機械	1,214	16.9	鉄道車両	168	16.1
陸用内燃機関	443	14.8	陸用内燃機関	425	16.9	コンデンサー等部分品	889	14.9
産業車両	129	13.6	農業機械	198	15.7	電動機	203	14.8
機種合計	17,481	*39.4%	機種合計	6,385	*16.1%	機種合計	5,339	*11.7%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2018/4			2018/5			2018/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
受信変換その他送受信機器	111	▲ 21.4	船舶	1,041	▲ 38.8	産業用ロボット	185	▲ 20.9
その他の光学機器	973	▲ 14.6	発電機	59	▲ 33.2	通信機械部分品	165	▲ 19.9
デジカメ・ビデオ	311	▲ 13.6	原動力機械	306	▲ 22.4	繊維機械	193	▲ 19.8
磁気カード・ディスク等	127	▲ 12.8	金属加工機械	224	▲ 16.1	受信変換その他送受信機器	100	▲ 18.6
産業用ロボット	200	▲ 12.7	その他の光学機器	906	▲ 13.8	機種合計	642	* 1.4%
航空機部品	630	▲ 10.6	鉄道車両	163	▲ 11.6			
電子計算機	374	▲ 10.6	機種合計	2,699	* 6.8%			
機種合計	2,727	* 6.2%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、航空機・部品等、自動車部品等が大きくプラス～

1) 6月の機械輸入伸び率は1.2%減と16ヶ月ぶりにマイナスとなった。上位12機種のうち6機種がプラスとなり、そのうち半導体製造装置(13.0%増)のみが二桁のプラスであった。マイナスとなったのは、電子計算機(24.6%減)、受信変換・その他送受信機器(16.6%減)をはじめ6機種であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TV、通信機械部分品の10機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の37%を占める中国(3.4%減)、ASEAN・南アジア(2.1%減)、EU(7.1%増)、北米(2.0%減)、韓国・台湾(5.0%減)、その他地域(9.2%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2018/4				2018/5				2018/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,132	5.4	11.3	電子デバイス	2,312	10.9	10.8	電子デバイス	2,247	▲ 3.6	11.2
電子計算機	1,704	0.1	9.1	航空機・部品等	1,741	104.6	8.1	電子計算機	1,560	▲ 24.6	7.8
携帯電話	1,253	▲ 4.1	6.7	電子計算機	1,657	▲ 5.8	7.7	航空機・部品等	1,240	8.9	6.2
自動車部品	1,064	8.0	5.7	自動車部品	1,225	11.7	5.7	自動車部品	1,217	3.8	6.1
乗用車	1,007	3.4	5.4	乗用車	1,184	7.4	5.5	乗用車	1,077	8.1	5.4
航空機・部品等	948	12.6	5.0	携帯電話	1,056	4.2	4.9	携帯電話	995	▲ 5.4	5.0
白物家電	713	0.1	3.8	白物家電	894	5.7	4.2	白物家電	894	8.9	4.4
医療機械	633	2.7	3.4	医療機械	639	2.1	3.0	医療機械	616	▲ 2.8	3.1
配電機器	548	9.6	2.9	配電機器	615	9.0	2.9	配電機器	603	4.2	3.0
受信変換その他送受信	445	▲ 11.8	2.4	受信変換その他送受信	529	▲ 7.5	2.5	受信変換その他送受信	550	▲ 16.6	2.7
その他の配電制御装置	369	▲ 0.8	2.0	風水力機械	424	24.7	2.0	半導体製造装置	455	13.0	2.3
風水力機械	349	15.2	1.9	その他の配電制御装置	421	3.8	2.0	その他の配電制御装置	391	▲ 8.2	1.9
12機種合計	11,165		59.4	12機種合計	12,697		59.1	12機種合計	11,845		59.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等